

# 第127回 入学前教育における eポートフォリオの導入と実践

- 入学前教育の成果(アウトカム)を評価したい
- 平成23年度大学の世界展開力強化事業採択
- 入学確定者を2週間米国大学に短期留学させる
- 毎日のリフレクションを蓄積させるしくみ
- eポートフォリオの導入
- 今後の課題: どう分析するか、どう運用するか。
- 学習意欲向上を目的とした入学前・入学後の活用

# 入学前教育「ACCESS」の概要

- 平成23年度 大学の世界展開力強化事業【タイプB-I: 米国大学等との協働教育の創成支援】採択。文部科学省による財政支援をうけて実施。(タイプB-IIは、全国49大学が申請し、うちAPUを含む7校が採択)
- 米国テキサス州オースティン市にあるSt. Edward's 大学(SEU)に2週間短期留学(ACCESS = “*American Cultural and Academic Experience at St. Edward's*”)。
- 入学後のさまざまなプログラムへの第一のステップとして位置づける。
- ACCESSのねらい(提起文書より)  
「入学直前の3月にAPU入学確定者がアメリカへ短期留学し、異文化体験をすることにより、**大学4年間の学びや英語学習の目標を設定させる**ものである。」



# 入学前教育の成果(アウトカム)

## 入学前教育「ACCESS」の成果(アウトカム)

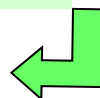
- 初年次教育における学びのロールモデルとなっているか？  
(1回生必修・選択授業でのパフォーマンス)
- SEUとの上位の協働プログラムに応募・参加しているか？
- 海外交換留学や、ピアリーダースタッフ、サークル活動への参加
- 真のグローバル人材として育てているか？



入学後、その目標設定に沿って学修を進められているか  
確認し、評価していかなければならない。



しかしどうやって？



# 大学の世界展開力強化事業

- ・ 「大学の世界展開力強化事業」は、世界に雄飛する日本として誇れる人材の育成を目指し、国際的な枠組みで、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行うアジア・米国等の大学との協働教育による交流の取組を支援することを目的としています。  
(日本学術振興会Webサイトより引用)
- ・ 発表者勤務先大学は平成23年度 大学の世界展開力強化事業【タイプB-I: 米国大学等との協働教育の創成支援】採択。  
(タイプB-IIは、全国49大学が申請し、うち発表者勤務先大学を含む7校が採択)

参考: 日本学術振興会「大学の世界展開力強化事業」概要 <http://www.jsps.go.jp/j-tenkairyoku/gaiyou.html>



# プログラムの内容

## ■大学120%活用法

- 日本で実施している入学前教育で実施している内容に沿って編成
- 大学での履修紹介、大学におけるスタディスキル、タイムマネジメント、
- ストレスマネジメント、コミュニケーション、プレゼンテーション、
- グループワーク等、異文化という学習環境の特性を生かした内容
- 大学でのラーニングゴールを考えるワーク

## ■英語

- 発音、リスニング、コミュニケーション、プレゼンテーション

## ■フィールドスタディ

- 現地学生とのふれあい、見学、企業訪問など



# リフレクションを蓄積するしくみ

- 一定の時間、記録しつづけること(授業の中に組み込む)
- 記録したことに対する評価を行うこと  
(自己評価、学生同士の評価、教職員からの評価…etc.)
- 教職員だけではなく、学生同士でフィードバックを行うこと  
(他の学生の頑張りからも刺激を受け、学ぶこと)
- システム操作が負担にならず、メールやSNSと同じような感覚で使えること

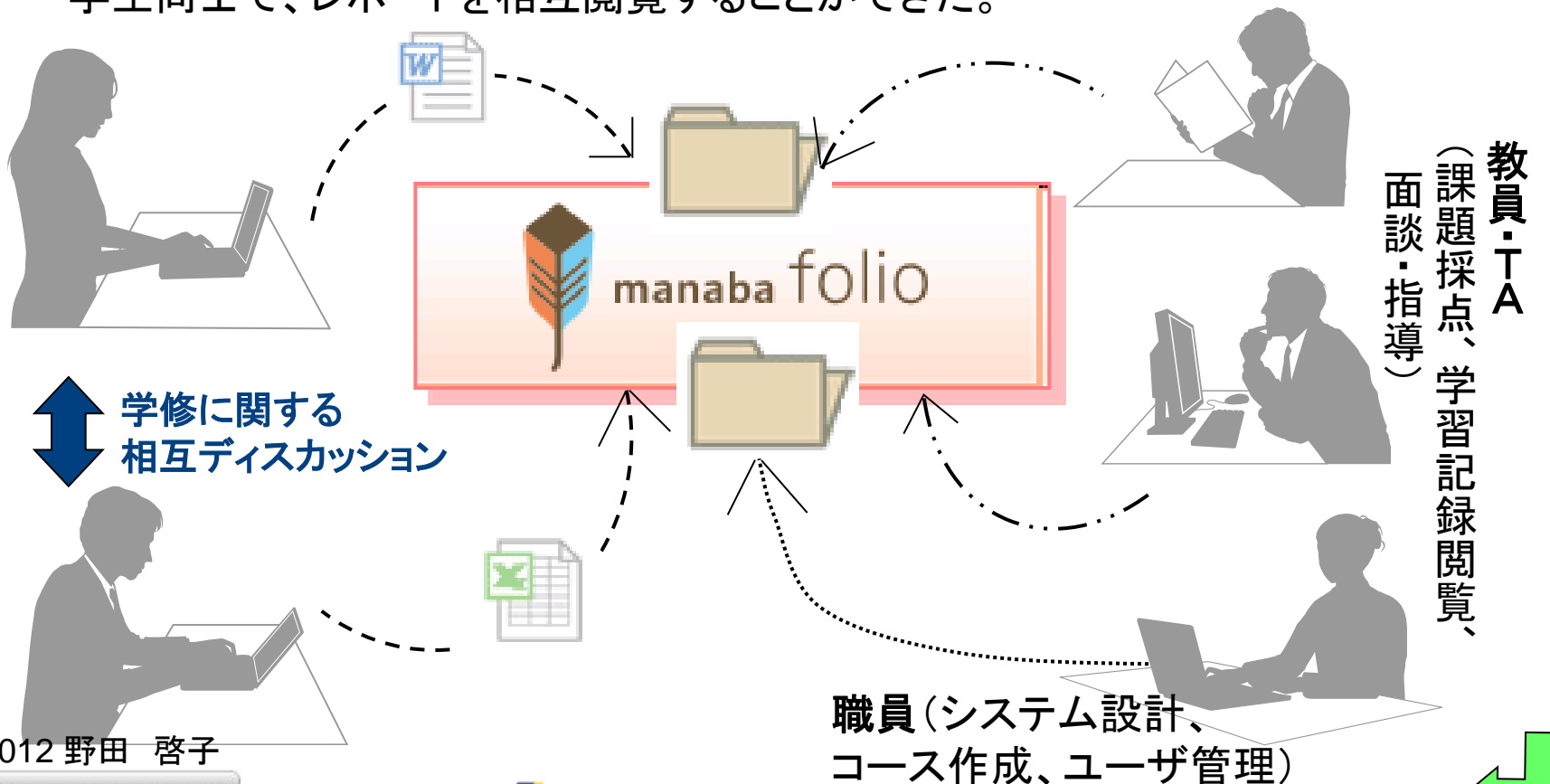


- いつでも、どこでも(アメリカでも)、書き込みができ、閲覧できること
- フィードバックがしやすいこと(評価やコメントが書きやすいこと)
- 利用者同士で、相互閲覧ができること(シェアできる)
- 利用者にとって、簡単に使えること  
(利用のために特別なトレーニングを必要としない)



# eポートフォリオの導入

- ✓ いつでも、どこでも(アメリカでも)、書き込み、閲覧をすることができた。
- ✓ 学生の書き込みについて、教職員・TAからフィードバックを行った。
- ✓ プログラム期間中の技術サポートは、大学(日本)にいる職員が行った。
- ✓ 学生同士で、レポートを相互閲覧することができた。



# 今後の課題

- プログラムや授業の内容とどのように組み合わせるのか
- 教職員が異動しても継続的に安定して運用できるしくみ
- 学生が主体的にポートフォリオをマネジメントできるようなトレーニング
- LMSや基幹システムとの連携
- 卒業後に使うかどうか(個人情報管理)

